



# 大いちょう

平成29年11月 1日

さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成29年度 No. 7 048 (829) 2737

On stage (オンステージ)

校長 石山 大介

先週の土曜日は、高砂小学校の皆さんの素晴らしいところを再発見することになりました。これまでも高砂小学校の皆さんや高砂小の凄いところ、たくさん見てきました。赴任して初めて聴いた昨年の音楽会も感動的でした。

「みんなで歌って楽しい」という表現する喜びは、音楽ならではのものです。しかし、高砂小の皆さんが歌う歌には、自分たちで楽しむということだけでなく、「伝える」という意思がはっきりとしていて、メッセージがちゃんとあるのです。だから伝わるってくるのです。感動として心に残ります。その感動は今年もでした。

さて、今年の音楽会で再発見した高砂の子どもたちの素晴らしいところ、それは3回公演で見つけました。3回公演は、今年度初めての試みでした。年々たくさんのご家族の皆様が参観に来てくださるようになり、体育館が満杯。授業の合間を縫ってステージの入れ替えをする児童と重なってしまうこともしばしばありました。それを解決するために先生方が考え出してくれたのが、今回の3回公演でした。お蔭様で、当日は体育館での交通整理がうまくいき、子どもたちも安心して伸び伸びと発表することができました。

発表会の主役はもちろん子どもたち。普通なら、同じことを3回も演じたら、ちょっと力を抜きたくなるのが人間の常ですが、高砂の子どもたちは違いました。

どの公演も真剣勝負。3回とも気持ちを切らすことなく集中して精一杯演じてくれました。むしろ、1回目よりも2回目、2回目よりも3回目と、心の込め方がクレッシェンドしていったように感じました。

子どもたちの仕事はステージで演奏することではありません。しかしこの先の人生の中で、自分たち（自分）が乗らなければならないステージはたくさんあります。ステージの大小やお客さんの多い少ないに関係なく、乗ったそれぞれのステージで手を抜かずに精一杯やり遂げる人に育ってほしいと思います。

音楽会という一場面ではありましたが、手を抜かずに心を込めてやり遂げた清々しさを心に蓄積して、さらに逞しくなっていく高砂の子どもたちの姿を想像していました。

感動のクレッシェンドをくれた子どもたちに、あらためてBravo（ブラボー）。

さて学年ごとに全員で歌った歌の歌詞には、それぞれ素晴らしいメッセージが込められています。音楽会だけで終わりにせずずっと覚えていてほしいと思い、いいところだけを抜粋しました。

♪ 虹を結んで空のリボン 君の笑顔へ贈り物 あしたまた幸せであるように  
1年生「YUME日和」より

♪ 君にはあるのさ天使の羽がほら 広げてとぼうよ 明日を見に行こう  
2年生「天使の羽のマーチ」より

♪ ありがとって言ったら みんなが笑ってる その顔がうれしくて何度もありがとう  
ありがとうの花がさくよ  
3年生「ありがとうの花」より

♪ かけていこう君のところへ 僕のまごころは きっと伝わる  
4年生「かけていこう」より

♪ いま踏み出そう 確かな一歩 果てしなく続く長い道だけれど  
それぞれの道 お互いに照らす光になるう  
5年生「たしかに一歩」より

♪ 人間の命は一瞬の輝き けれども きっと大きな意味があるはず  
6年生「奇跡」より

冬の空気が少しずつ北から降りてきました。平成29年、酉年も余すところ2か月です。よい締めくくりができるよう、健康に注意して頑張りましょう。